

令和7年度 国語課題懇談会 (盛岡会場)

兼 文化審議会答申「改定ローマ字のつづり方」説明会

ホテルニューカーナ 2階・アイリス

岩手県盛岡市菜園2-3-7

令和8年2月21日(土) 13:00~16:00

主催・共催

文化庁・岩手県教育委員会

【概要】 令和7年12月22日に「ローマ字のつづり方」が内閣告示として出されたことを受け、内閣告示の基となった令和7年8月の文化審議会答申「改定ローマ字のつづり方」の内容を説明するとともに、ローマ字表記の歴史を振り返り、参加者からの質問を基にローマ字表記の現代的意義を考える機会とする。

※ 岩手県は、様々な分野でローマ字を実際に使用した、ゆかりある人物が多いため、ローマ字答申説明の地として選ばれました。

【日程】

- 12:30 受付開始
- 13:00～13:10 開会式
- 13:10～14:10 「岩手とローマ字－大島高任・田中館愛橘・石川啄木・宮澤賢治－」 大野眞男先生（岩手大学）
* 岩手ゆかりの人物のローマ字表記をめぐる講演
- 14:10～14:15 休憩
- 14:15～15:00 「改定ローマ字のつづり方」をめぐって 森山卓郎先生（国語分科会長・早稲田大学）
* 文化審議会答申「改定ローマ字のつづり方」の審議背景や考え方、ポイントについての講演
- 15:00～15:15 休憩（質問紙回収）
- 15:15～15:55 質問紙に基づく協議
- 15:55～16:00 閉会式

* 参加費無料、事前申込み不要、どなたでも参加いただけます。特に、国語施策、国語表記、国語教育、ローマ字に関心のある方は、是非御参加ください。

* 会場定員 80 名



ホテルニューカーナ

【問合せ】 文化庁国語課（鈴木）

E-mail kokugo@mext.go.jp

TEL 03-5253-4111（内線 2841）